

最も先生に当てられにくい座席 in 2017

1年1組 伊勢 将平 1年1組 清家 史哉
指導者 小野 貴康

1 課題設定の理由

私たちは授業中に先生に当てられ、発表することがある。赤松ら(2016)の研究結果では40番が最も当てられにくい出席番号となった。そこで私たちは、実際に「どの席であれば当てられにくいのか」と疑問に思いこのテーマを設定した。

2 仮説

今までの経験上、前後の列でみれば教卓から最も近い前列が当てられやすく、また最も遠い後列が当てられにくいと推測する。

3 実験・研究の方法

(1) アンケート調査

以下に示す日程でアンケート調査を実施した。アンケート用紙(図1)には、時間ごとの教科名・講座名・座席・当てられた回数を記入していただいた。

<実施日> 9月13日、9月28日、10月19日、10月31日、11月12日 の計5回
ただし9月13日、9月28日は1年1組、10月19日は1年1組、1年2組、10月31日、11月12日は1年1組～4組で実施。

(2) データ整理

表計算ソフトに日ごと、教科ごと、講座ごとにデータを入力し、考察した。

図1 アンケート用紙

4 結果と考察

(1) 結果

当てられた回数は図2のようになった。ただし、図2の縦列は左からA、B、C、D、E、F、横列は前から1、2、3、4、5、6、7とする。また、当てられやすい席と当てられにくい席ベスト3をまとめると、表1のようになった。

教卓							
	A	B	C	D	E	F	合計
1	13	6	8	9	10	10	56
2	10	18	8	7	19	11	73
3	11	13	12	11	12	7	66
4	12	14	11	16	4	6	63
5	6	6	9	12	13	7	53
6	15	19	9	4	7	7	61
7		8	2	3	4		17
合計	67	84	59	62	69	48	389

図2 当てられた回数

表1 当てられやすい席ベスト3・当てられにくい席ベスト3

当てられやすい席ベスト3		当てられにくい席ベスト3	
E2, B6	19回	C7	2回
B2	18回	D7	3回
D4	16回	D6, E4, E7	4回

(2) 考察

ア 縦列でみると、ABC側が当たりやすく、DEF側が当たりにくい。先生が板書中に振り向く際、写真2より写真1の振り向き方が多い。この場合、ABC側が先生の視界に入りやすいため当たりやすいのではないかと推測できる。

イ 7（最後列）は他と比べてはるかに当てられにくい。

ウ 1（最前列）は先生に最も近いのに、当てられにくい。このことから、1が当てられにくいのは教壇が高いからなのではないかと考える。

エ 一番外側から縦横1列内にある座席はよく当てられている。このことから、「少し内に入っている座席を当てたい」という人間心理が働いたのではないかと考える。



写真1 右向き



写真2 左向き

5 まとめと今後の課題

仮説のうち、横列7（最後列）は最も当てられにくい列であるが、横列1（最前列）は最も当てられやすい席ではないことが実証された。多くのデータをアンケートから取ることによって、正確な結果を出すことができた。先生の当て方、教科などの様々な要因があり、それぞれ異なってくる。今後は、さまざまな要因を考慮して、もっと詳しい結果を導きたい。

謝辞

今回行ったアンケートに協力していただいた1年理数科・普通科の生徒・先生方に感謝する。

参考文献

- ・赤松蒼太・篠原翔希・池田功輝・土居幸太郎・桂貴大・岡森積至（2016）「最も当てられにくい出席番号 in2016」『平成27年度SSH生徒課題研究論文集』愛媛県立宇和島東高等学校 p.33-34.